

別記
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和6年3月6日

コミュニティ名 非認知能力を対話的な学びの中で育てる若手教員の会
代表者所属名 木津川市立棚倉小学校
代表者職・氏名 教諭 本田 裕樹

京都府若手教職員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名

非認知能力を対話的な学びの中で育てる若手教員の会

2 研究テーマ

非認知能力を養うための指導方法の研究
～義務教育9年間を見据えた小中連携事業を生かして～

3 研究の目的

小中連携事業を通して非認知能力の伸長を目指す

4 研究の成果と課題

- ・小中合同研修を通して、非認知能力について整理ができた。
- ・若手教員が交流することにより、日々児童・生徒と接する教員が感じている成果や課題を整理できた。
- ・学びのパスポートの結果を交流することで、児童・生徒の非認知能力の変容を見取ることができた。
- ・各校の研修に参加することで、各校の研究主題が交流でき、成果と課題を共有できた。
- ・山城中学校区として9年間で育みたい非認知能力を整理し、その能力の伸長のための具体的方策を整理する必要がある。

5 研究成果の波及方法

- ・小中合同研修会（年3回実施）や各学校における公開授業及び事後研修会に参加することで、研究内容の報告・交流を実施した。
- ・各学校の研修において、研究成果を報告した。
- ・研究成果を各学校の授業改善に生かした。

6 研究（活動）実績

年月日	研究（活動）内容（具体的に記入）	活動場所
5月31日	・小中合同研修会 京都教育大学大学院佐古清教授による講演を通して認知・非認知能力について研修を実施	山城中学校
5月24日	・校内授業研修会 京都女子大学水戸部修治教授による講演及び公開授業を通して付けたい力を付けさせるための手立てとして対話的な学びをどう活用するかの研修を実施	棚倉小学校
6月22日	・小6授業体験 カルテット（4人組学習グループ）による学び合い学習の体験を通して非認知能力をどのように育むかの研修を実施	山城中学校
6月30日	・校内授業研究会 愛知文教大学倉知雪春教授による講演及び公開授業を通して非認知能力を学び合いの中でどのように育むかの研修を実施	山城中学校
8月21日	・小中合同研修会 四天王寺大学杉中康平教授による講演及び模擬授業を通して道徳の授業の中で非認知能力をどのように育むかを研修するとともに、各校の学力テスト・卒業生の進路・不登校児童生徒の交流を行い、校区内の児童・生徒に必要な非認知能力についての研修を実施	山城中学校

9月29日	・学びのパスポートの結果分析を通して各校の非認知能力を交流	京都府総合教育センター
10月19日	・京都女子大学水戸部修治教授による講演及び公開授業を通して付けたい力を付けさせるための手立てとして対話的な学びをどう活用するか研修を実施	棚倉小学校
11月17日	・先進地視察	笠置中学校
11月24日	・小6授業体験 カルテット（4人組学習グループ）による学び合い学習の体験を通して非認知能力をどのように育むかの研修を実施	山城中学校
12月4日	・校内授業研究会 愛知文教大学倉知雪春教授による講演及び公開授業を通して非認知能力を学び合いの中でどのように育むかの研修を実施	山城中学校
12月7日	・生徒、保護者、教職員向け講演会 京都教育大学大学院佐古清教授による講演を通して人権尊重の理念をベースに非認知能力・ウエルビーイングについての研修を実施 ・若手教職員学び合いのコミュニティ研修 校内での研修や小中連携事業を推進するために必要な教職員の非認知能力について交流	山城中学校
1月17日	・先進地視察	長岡第二中学校
2月22日	・校内授業研究会 愛知文教大学倉知雪春教授による講演及び公開授業を通して非認知能力を学び合いの中でどのように育むかの研修を実施	山城中学校

2月27日	・校内研修会 京都教育大学大学院佐古清教授による講演を通して認知・非認知能力について研修を実施	山城中学校
-------	--	-------